

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36287
事業名	MICE推進費					
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	011-211-2376
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	○ 全部委託	● 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・MICEは集客促進において観光を補完する特性があり、その運営に観光的要素を盛り込むことが不可欠となることから、MICE参加者が観光目的として再訪することを促すなど、観光とMICEの相互関係を有機的につなげるためMICEを推進してきた ・開催地の環境配慮によるMICEの持続可能性の向上や、開催地決定の提案内容に、開催都市の持続可能性が必須事項となりつつある ・MICEを現地で開催する意義や、開催地にもたらすレガシー効果を重視する主催者が増加している ・主催者の価値観の多様化やハイブリット開催の広まりによる開催形態の在り方が変化しており、柔軟な助成制度や開催形態の提案の必要性が高まっている
	事業内容(何を実施し)	国際会議やインセンティブツアー等のMICEを積極的に誘致するため、マーケティング・調査を活用しながら、誘致活動を展開。 ①さっぽろMICE推進委員会への負担金:海外MICE見本市出展等 ②コンベンションビューロー運営費補助金:札幌コンベンションビューローの運営費を補助 ③コンベンション誘致促進助成金:コンベンション開催経費への助成 ④インセンティブツアー誘致促進サポート制度:インセンティブツアーのアトラクションなど提供 ⑤コンベンションシャトルバス補助金:会場等を結ぶシャトルバスの費用補助 ⑥ハイブリッドコンベンション助成金:ハイブリッド開催する際のオンライン配信に係る経費への助成 ⑦マーケティング・調査分析事業:サステナビリティに関する海外事例や市内開催MICEの満足度、経済効果等の測定
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	積極的な誘致戦略を展開し、継続的にMICEを誘致・開催していくことで、関連産業の振興による地域経済の活性化をはじめ、札幌の国際的知名度の向上、ビジネス・イノベーション機会の創造や学術振興等に資することを目的とする。
	他都市の状況	観光庁が選定したグローバルMICE都市(東京、横浜市、名古屋市 愛知県、京都市、大阪府 大阪市、神戸市、福岡市、仙台市、千葉県 千葉市、広島市、北九州市)をはじめとする各都市においてMICE誘致の取組が実施されている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	187,129 千円	うち特定財源	17,075 千円	正規職員業務量	2.2 人工
令和5年度予算額	202,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.2 人工
令和5年度決算額	169,307 千円	うち特定財源	5,494 千円	正規職員業務量	2.2 人工
令和6年度予算額	184,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.02 人工

指標	アウトプット活動指標1	トップセールス件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2件	2件	2件	2件	2件	2件
	↓						
	アウトカム成果指標1	ICCA基準による国際会議開催実績			アジアパシフィック圏順	という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		16	25	30	25	23	23
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	都市間競争が激化しており、札幌へのMICE誘致・開催を継続していくため、ニーズに対応した誘致ツールや受入体制を整えていく					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	特になし
来年度以降の方向性	次期札幌MICE総合戦略の検討内容を踏まえ、具体的なMICEの誘致・開催に係る支援メニューについても検討していく必要がある。